

## 第 2 回 総合計画審議会における主な意見等

## 議事(1) 清須市第2次総合計画 後期基本計画（骨子案）について

- 1 若い世代を呼び込み、将来的に住み続けてもらうことを目標にしているのであれば、20 歳代から 40 歳代の人口数の数値目標は、もっと増えていかないと不自然ではないかと思う。目標値をもっと上に上げていないと下振れすることになる。
- 2 施策が何の基本目標に関係しているのかということができる限り示していただきたい。
- 3 分野横断的な基本目標をどのように進めていくのか、プロジェクトチームを作ってやっていくのかなどははっきりさせてほしい。

## 議事(2) 清須市第2次総合計画 後期基本計画の施策の方向性について

- 1 国や県との役割分担を市民が理解して満足度調査で評価することは考えにくい。見た目や肌感覚などで評価されることになると思う。
- 2 市内の事業所数を増やしたいという目標に対し、対策が弱い印象を受ける。
- 3 観光や産業、農業と連携してやっていくことがまちの発展に必要なことになる。縦で割っていくだけではなく、横のつながりで色々なものを考えていった方が良い。
- 4 「人を育てる」というところで、子どもを育てていくだけでなく、後継者を育てることも大事である。市内で事業をやめてしまう店を減らすために市にある資源を紹介する、後継者を血筋ではなく育てていく観点や活動もあってよいのではないかと思う。農業にも同じことが言える。
- 5 AEDの使い方の訓練をしたことがあるが、近所のどこに置いてあるか分からない。AEDや消火器がどこに置いてあるのかが分かると良い。
- 6 人を呼ぼうとするばかりではなく、まず地元にいる市民が興味を持ち、それによって結果として外部から人が集まってくるという考え方をすると良いと思う。
- 7 地域防災リーダーは年々増えているが、防災訓練などに参加する方は決まっていて、若い世代の方はあまり参加していない。消防団も同じ状況で困っている。

- 8 清須市には豊富な歴史資源・観光資源はなく、小さなもの、小間切れのものをいかに繋いで魅力あるものにするか悩ましいところである。食べる場所、休むところがないと言うが、市や観光協会から無理やり頼んでも無理である。市の予算が横のつながりをもった予算割りになると、もう少し市民の方もやる気になってくれるのではないかと思う。
- 9 緊急車両が走行する際に路上駐車が非常に多いという話になると、警察の問題となってしまいうため、そういう横のつながりも大事にしていきたい。
- 10 人材の問題があり、障害者支援施設が少ないと思う。ヘルパーなどの職員の養成も挙げていただきたい。職員が少なくて四苦八苦しているところが多いので、大学で介護福祉士など色々な勉強をしている方に働いてもらえると助かる。
- 11 見守りカメラの設置支援は是非やっていただきたい。
- 12 子どもの年齢が上がると帰宅時間が遅くなるので、高校生や大学生についても不審者情報を発信していただきたい。
- 13 公園の遊具はきれいになってきているが、低年齢化し過ぎて、小学校の中学年、高学年が遊べる遊具があまりない状態になっている。未就園の場合はとても良いことだが、小学生が遊ぶ場所が減っているの、どうにかしていただきたい。
- 14 創業支援事業による創業件数は清須市単独の数字を出すと良いのではないかと思う。計画の中に載せるかは別として清須市の件数に一番関心がある。
- 15 商工会との連携について、具体的なものが書けるのであれば書いていただきたい。商工会が間に入っていただいて支援をする事業が多くあるので、それがどう機能して、どういう成果に繋がっているか知りたい。もし十分でないということが確認できるのであれば、違うルートで創業支援を行うことも課題になってくると思うので、まずは現状を把握したい。
- 16 達成度指標の「広報清須の紙面が読みやすいと思う市民の割合」を例えば「市は市民が必要としている情報を提供していると思うかどうか」に変更してはどうか。広報清須は見る人が限られるかもしれないため、必要としている情報が発信できているかどうかという確認をしてはどうか。